

Information

No.2017-58 Date 2017.10.13

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記の項目につきまして、検査内容の変更をさせていただくことになりましたので
ご案内申し上げます。
先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくご了承の程お願い申し上げます。
謹白



● 項目名

● total P1NP

(依頼コードNo.07689)

変更日 2017年11月1日(水)受付分より

試薬添付文書の記載に従い、報告範囲(報告上限)を変更させていただきます。
この変更に伴う検査方法、報告単位等の変更はございません。

裏面に続きます

株式会社 第一岸本臨床検査センター

札幌本社:〒007-0867 札幌市東区伏古七条三丁目5番10号 ☎(011)787-2111 FAX(011)787-2191

資料、お問い合わせは担当者または最寄りの営業所までお願いいたします。

受託要領

	新	従来
依頼コードNo.	07689	同左
検査項目名	total P1NP	同左
統一コード	5C120-0000-023-053	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.3mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2~3	同左
検査方法	ECLIA法	同左
基準値	女性閉経前(30~44歳):16.8~70.1 女性閉経後(45~79歳):26.4~98.2 男性(30~83歳):18.1~74.1	同左
単位	ng/mL	同左
報告桁数	小数第1位	同左
報告範囲	5.0未満~1200.0 1200.0を超える場合は別紙報告	5.0未満~最終値
検査実施料/判断料	170点/144点(生化学的検査(Ⅱ))	同左
備考	報告上限を超えた場合は、「1200.0ng/mL超」と、別紙報告されますのでご了承ください。	—

測定範囲上限を超える検体の処理について

[試薬添付文書変更内容]

測定範囲上限を超える高値検体に関する処理を以下のように変更します。

〈変更前〉検体希釈液を用いて希釈してください。

〈変更後〉1,200ng/mL超と報告してください。

P1NPの高値は骨転移疾患や腎不全と関連していますが、国内においてP1NPは骨粗鬆症患者の治療効果判定や経過観察に対して保険適用されています。測定範囲上限を超える高値検体の多くは腎不全例が占めていますが、腎不全の患者の検体では、希釈直線性が得られない場合があります。こうした状況のため、希釈を推奨しない内容に変更いたします。